春や春、花いっぱいの小石川後楽園

カンヒザクラ

オオカンザクラ

カタクリ

タチツボスミレ

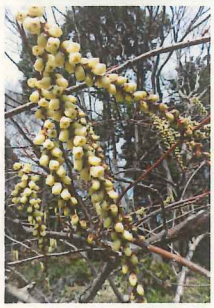
ニホンスイセン

三月に入り、暖かい日が続いています。季節も急速に春へと移り、小石川後楽園の花々の開花が進んでいます。

団体休憩所のオオカンザクラが見頃を迎え、カンヒザクラも紅色の小さな花をたくさん咲かせています。

西行堂へ向かう園路脇に、カタクリも咲き始めています。花いっぱいの小石川後楽園で春を満喫しましょう！

小石川後楽園の難読漢字に挑戦！⑪



今回のお題は…

『木五倍子』

難易度　高

丸屋から白糸の滝に向かう左手で小さな薄黄色の花を穂状に咲かせています。キフジなどの別名があります。

桜の見ごろ期間
開園時間延長
3月23日(土)～4月7日(日)
9時～18時
(最終入園は17時30分)

もっと知りたい！小石川後楽園　⑥【小石川後楽園の桜】

小石川後楽園には、当園を代表する芝生広場のシダレザクラをはじめ、前述のオオカンザクラ、エドヒガン、ソメイヨシノなど９種類の桜が、庭園の景色を春色に染め上げます。

芝生広場のシダレザクラは『馬場桜』と呼ばれています。これは江戸時代にあった「桜の馬場」からこの場所に移した桜を馬場桜と呼んだことが始まりといわれています。現在の桜は二代目にあたり、樹齢六十年から七十年になります。

シダレザクラに遅れること一週間から十日でソメイヨシノが咲き始め、ベニシダレ、ウコン、ヤマザクラと開花が続きます。

涵徳亭前にある古木のフユザクラも含め、当園の桜の花を心ゆくまでご堪能ください。

桜の開花情報等は当園ホームページまたは『都立庭園　園長の採れたて情報 https://twitter.com/ParksTeien をご覧ください

小石川後楽園の何？これ？②

九八屋から内庭に向かう左手に見える、大きな円形の物体。いったい、これは何でしょうか？

この物体、実は、明治以降の後楽園の歴史に関わり深いものなのです。

明治維新で新政府に上地された水戸徳川家の屋敷地は、陸軍省の管理下となり、東京砲兵工廠という兵器工場になりました。ところが、その東京砲兵工廠も、関東大震災で大きな被害を受け、移転する運びとなりました。

この歯車のような物体は、移転の際、東京砲兵工廠が残した弾丸製造機の部品のひとつといわれているものなのです。

難読漢字の答　キブシ

かわら版小石川後楽園

第20号

平成25年
3月14日
発行

年間パスポート
好評発売中

一般用　年間パスポート
１２００円

かわら版についてのお問い合わせは　小石川後楽園サービスセンター　03（3811）3015

お客様サポートセンター（協会の事業全般に関するお問い合せ）TEL　03（3232）3038　※8：30～17：30（土日・祝日、年末年始を除く）指定管理者　公益財団法人　東京都公園協会